

## ■震災時におけるゲートウェイ機能の強化(姫路港・大阪港)

大規模震災時における避難者や緊急物資等の輸送を確保するため、耐震強化岸壁の整備、緊急輸送ルートに接続する臨港道路の耐震強化等、震災時におけるゲートウェイ機能を強化する。さらに広域的な社会経済活動への影響を最小限にするため、耐震強化された国際海上コンテナターミナルの整備を推進します。



### 姫路港須加地区岸壁(-10m)(改良)

兵庫県では、姫路市中央部にある手柄山中央公園を広域輸送拠点に指定し、災害時には緊急援助物資の集積地となる防災計画を策定しています。この集積地への輸送路のゲートウェイとして海上アクセスポイントである姫路港須加地区岸壁(-10m)の耐震改良を行います。(兵庫県)

### ■事業効果

この耐震強化改良を行うことにより、海上アクセスポイントの耐震性が確保できるようになり、災害時の緊急援助物資輸送に寄与することとなります。

平成17年 3月現在	緊急物資輸送		物流機能維持	
	完了	平成17年度整備	完了	平成17年度整備
京都府	2	0	—	—
大阪府	10	0	1	2(大阪港・堺泉北港)
兵庫県	18	1(姫路港)	5	—
和歌山県	2	2(文里港・新宮港)	—	—
小計	32	3	6	2

(バース数)